

第2回医療評価委員会資料

資料4

健康情報活用基盤実証事業について

平成 20 年 9 月 5 日
総務省・厚生労働省・経済産業省

(2) 健全で安心できる社会の実現

【重点的な取組】

(ア) 国民の健康情報を大切に活用する情報基盤の実現

国民が実感できる実現目標

健康情報の電子的活用により、

- ① 個人の健康情報を自らが管理し医師等に提示することによる病歴や体質に応じた医療の提供、
- ② 異なる医療機関間においても患者の健康情報が分断されない継続性ある医療の提供、
- ③ 疾病情報や臨床データの分析による根拠に基づいた医療の提供、

が可能となり、医療の質の飛躍的な向上が期待される。これらの3つの要素を実現するための世界最先端の国民健康情報基盤を構築する。そのため、健診結果等の健康情報を個人が活用するとともに、全国規模で収集・分析する仕組みを2011年度当初までに構築する。

1. IT構造改革力の追求

1.1 ITによる医療の構造改革

－ 生涯を通じた健康管理、レセプト完全オンライン化 －

1.1.1 医療分野の情報化

- ② 健康情報を活用した高度な予防医療の支援と医療機関による質の高い医療の実現

2010年度までに個人の健康情報を「生涯を通じて」把握できる基盤を作り、国民が自らの健康情報を活用し、健康増進に努めることや保険者による高度な保健指導の実現を支援する。また、電子カルテ等の医療情報システムの普及を推進し、医療の質の向上、医療安全の確保、医療機関間の連携や全国的な健康情報の活用等を飛躍的に促進する。

概要

- ・個人の健康情報（診療情報・健診情報等）をネットワークを介して電子的に活用するための基盤の構築に向け、3省が連携して実証実験を行う。
- ・この仕組みにより、医療機関間の継続性ある医療や個人の健康増進対策等に資する。

実施主体

総務省・厚生労働省・経済産業省

実施フィールド

沖縄県浦添市

実施期間

平成20年度～22年度（予定）

各省における実証内容

次頁のとおり

厚生労働省

これまでに・・・

- ・ Web型電子カルテの導入補助および地方公共団体が設置するデータセンター設置補助事業による地域における面的連携の支援
- ・ HPKI (Healthcare Public Key Infrastructure: 保健医療福祉分野の公開鍵基盤) による文書の真正性確保
- ・ インターネットを安全に利用する方策 (IP-sec & IKE等) の提言により、費用負担を軽減しつつ安全なネットワークを明示

→ これらの事業成果の組み合わせにより、標準化された、安全性の高い診療情報ネットワーク基盤の構築をモデル化

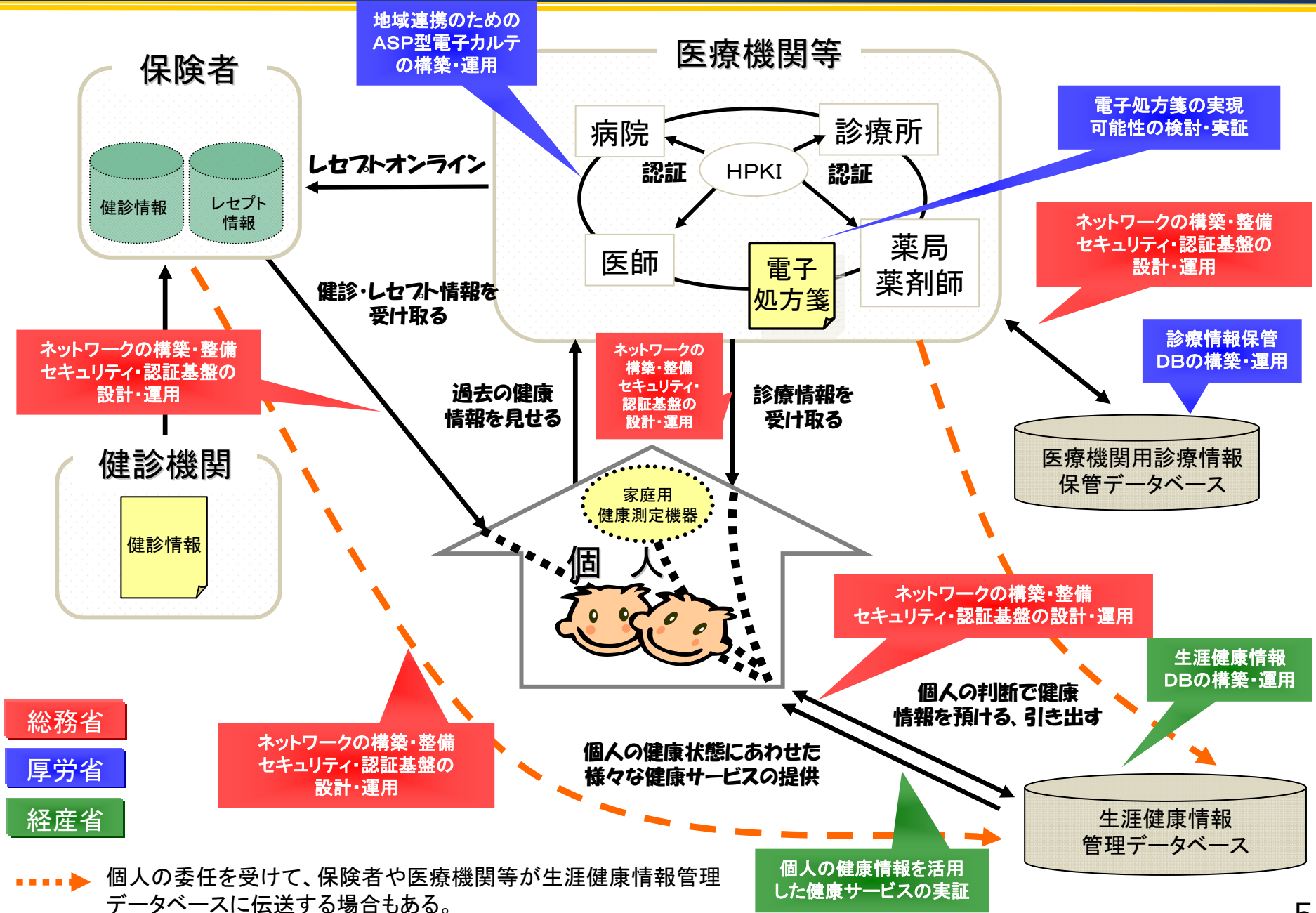
経済産業省

- フィットネス事業等の健康産業や、家庭用健康機器等から出力される健康情報のデータ形式等の標準化
- 個人が入手した本人の健康情報を安全に管理しておく仕組みの確立

総務省

- 安全かつ効率的なネットワーク化
- 患者個人のアクセサビリティを保証する認証基盤の整備

健康情報活用基盤実証事業の概要



実施スケジュール

3カ年のスケジュール概要を以下に示す。

実施内容	H20年度				H21年度				H22年度			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
実施計画立案 実施内容検討		■			■				■			
実験スキーム調整 参加者募集		■				■				■		
システム開発、構築		■				■				■		
実証実験			■				■				■	
実験結果取纏め 報告書作成				■				■				■

健康情報活用基盤実証事業の概要 (METI)

柏市における“主権在民”による健康情報基盤実証事業

柏健康サポートネットワーク・コンソーシアム

(株)健康サポートネットワーク、千葉大学予防医学センター、順風路(株)、医療法人社団康喜会、NPO法人東大スポーツ健康マネジメント研究会、オリンパス

オンラインによるID・パスワード認証に加え、事前に登録した電話を用いる電話認証を行うPHRを活用し、健康情報の提供、健康相談、健康コミュニティーの場の提供、健康関連製品開発との連携等の実証を行う。

個人の健康情報活用基盤「PHR-DB」構築とその活用による健康社会への取り組み

ホームヘルスケア創造コンソーシアム

(株)ベストライフ・プロモーション、(株)ユウシュウケアサービス、ケイエムユーシステム(株)、富士通(株)、NTTデータ(株)

個人認証生体キーを活用したPHRを基盤として、個人認証を共通化したポータル統合、健康増進の費用対効果及び評価指標、家族間での健康情報共有によるコミュニケーション機会の提供、医療機関による疾病管理・二次予防モデル等の実証を行う。

香川県下での地域医療情報ハブ「eヘルスケアバンク」推進プロジェクト

かがわeヘルスケアコンソーシアム

(株)STNet、(株)ミトラ、国立大学法人香川大学、四国旅客鉄道(株)、ジェイアール四国バス(株)、高松琴平電気鉄道(株)

USBトークンやFeliCa技術を利用したICカード「IruCa」等による認証を行うPHRを活用し、ヘルスケア情報の提供、健康アドバイザーサービスによる効果的な健康管理等の実証を行う。